

耳鼻咽喉科

出題問題

	出題	内容
第1回	メニエール病	めまい・めまい感
第1回	流行性耳下腺炎	原因・ウイルス
第5回	メニエール病	原因、症状
第6回	突発性難聴	症状
第6回	ベル麻痺	症候
第7回	ラムゼイハント症候群	症候
第9回	突発性難聴	症状
第10回	扁桃肥大	症状
第11回	メニエール病	症状
第13回	星状神経節ブロック	適応でない疾患
第13回	アレルギー性鼻炎	病態
第14回	聴神経腫瘍	症候
第14回	メニエール病	病態
第15回	症例問題 聴神経腫瘍	検査 疾患名
第17回	アレルギー性鼻炎	症状、原因、治療法
第18回	慢性副鼻腔炎	所見、検査、治療
第19回	アレルギー性鼻炎	診断、抗体
第21回	突発性難聴	症状
第22回	メニエール病	症状
第27回	感音性難聴	疾患
第27回	ラムゼイハント症候群	治療法

眼科

	出題	内容
第5回	アレルギー性結膜炎	症状
第6回	白内障 緑内障 眼精疲労 麦粒腫	徴候の組合せ
第8回	緑内障 ベーチェット病 網膜色素変性症 白内障	徴候の組合せ
第10回	屈折異常（近視、遠視、老視、乱視）	使用眼鏡
第11回	流行性角結膜炎	原因
第12回	失明しない	疾患
第15回	流行性角結膜炎	原因 アデノイド
第18回	結膜炎	症状の特徴
第21回	アレルギー性結膜炎	疾患と組合せ
第22回	緑内障	所見 視野障害
第27回	アデノウイルス感染	流行性角結膜炎

皮膚科

	出題	内容
第1回	帯状疱疹	神経性皮膚炎
第1回	じんま疹	合併症のあやまり
第4回	皮膚化膿症	原因、ブドウ球菌
第12回	アレルギーの型と疾患 じんま疹	組合せ、誤り
第22回	アトピー性皮膚炎	病態

歯科

	出題	内容
第1回	う歯	C1 分類（症状）
第9回	う歯	要因でない

第1回

問題 67 めまい及びめまい感について誤っているのはどれか。

1. めまいは運動性の感覚を伴う
2. 体が不安定な感覚をめまい感という
3. メニエール病のめまいは小脳性である
4. 自律神経失調症ではしばしばめまい感を伴う

第1回

問題 70 う歯について誤っているのはどれか

1. 微生物によって産出される酸が歯を脱灰する
2. 食事の中の糖の量に関係する
3. 唾液の流出が少ないと、う歯になりやすい
4. CI（1度）で痛みを生じる

第1回

問題 72 正しい組合せはどれか。

1. 流行性耳下腺炎 —— ムンプスウイルス感染
2. 消化性潰瘍 —— 大腸菌感染
3. 虫垂炎 —— ビタミンC欠乏
4. イレウス —— アレルギー

第1回

問題 2 皮膚疾患について正しいのはどれか。

1. 円形脱毛症はウイルス感染が原因である。
2. 脂漏性湿疹は油脂を取り扱う人に多い。
3. 接触性皮膚炎はウイルスとの接触により起こる。
4. 帯状疱疹は分節性の神経性皮膚炎である。

第1回

問題 88 アレルギー疾患について誤っているのはどれか。

1. アレルギー鼻炎では発作性のくしゃみや鼻閉がある。
2. アトピー性皮膚炎は内因性のアレルギー機序で発生する。
3. じんま疹はしばしば気管支喘息を合併する。
4. 食事性アレルギーはレアギン型アレルギー反応で起こる。

第4回

問題 80 皮膚化膿症の主な原因となる菌はどれか。

1. 緑膿菌
2. ブドウ球菌
3. ガス壊疽菌
4. 大腸菌

第5回

問題 75 メニエール病について適切でないのはどれか。

1. 内リンパ水腫
2. 聴力正常
3. めまい発作
4. 耳鳴り

第5回

問題 76 アレルギー性結膜炎の症状で適切でないのはどれか。

1. 眼瞼浮腫
2. 視力低下
3. 掻痒感
4. 流 涙

第6回

問題 71 突発性難聴の症状で適切でないのはどれか。

1. 伝音難聴
2. 耳鳴り
3. 耳の閉塞感
4. めまい

第6回

問題 72 眼疾患とその徴候との組合せで誤っているのはどれか。

1. 緑内障 —— 眼圧上昇
2. 白内障 —— 角膜混濁
3. 眼精疲労 —— 調節異常
4. 麦粒腫 —— 眼瞼腫脹

第6回

問題8 ベル麻痺の症候でみられないのはどれか。

1. 兎 眼
2. 味覚障害
3. 聴覚過敏
4. 顔面痛覚鈍麻

第7回

問題73 ラムゼイハント症候群で正しい記述はどれか。

1. 顔面神経麻痺が起こる。
2. 深部反射が亢進する。
3. 呼吸筋麻痺が起こる。
4. 味覚は正常である。

第8回

問題8 眼疾患について正しい組合せはどれか。

1. 白内障 ———— ブドウ膜炎
2. ペーチェット病 ——— 色覚異常
3. 網膜色素変性症 ——— 水晶体白濁
4. 緑内障 ———— 眼圧亢進

第9回

問題78 う歯の要因でないのはどれか。

1. 口腔内細菌
2. 食 物
3. 歯の質
4. 年 齢

第9回

問題4 突発性難聴で誤っているのはどれか。

1. 突然に発症する。
2. 感音難聴である。
3. 耳鳴りを伴う。
4. 顔面神経麻痺を伴う。

第10回

問題69 疾患とその治療に用いる眼鏡との組合せで正しいのはどれか。

1. 近視 ——— 凸レンズ
2. 遠視 ——— 凹レンズ
3. 老視 ——— プリズムレンズ
4. 乱視 ——— 円柱レンズ

第10回

問題78 扁桃肥大でみられない症状はどれか。

1. いびき
2. 難 聴
3. アデノイド顔貌
4. 嚥 声

第11回

問題70 流行性角結膜炎について 誤っているのはどれか。

1. 細菌感染
2. 潜伏期は約1週間
3. 耳前リンパ節腫脹
4. 点状表層角膜炎

第11回

問題80 メニエール病の症状でないのはどれか。

1. めまい
2. 耳鳴り
3. 難 聴
4. 耳 漏

第12回

問題54 アレルギーの型と疾患との組み合わせで誤っているのはどれか。

1. I型 ——— 花粉症
2. II型 ——— じんま疹
3. III型 ——— 糸球体腎炎
4. IV型 ——— 接触性皮膚炎

第 12 回

問題 60 失明する可能性のないのはどれか

1. 糖尿病網膜症
2. 緑内障
3. 網膜色素変性症
4. 翼状片

第 13 回

問題 80 星状神経節ブロックの適応でないのはどれか。

1. 末梢性顔面神経麻痺
2. 顔面の帯状疱疹後神経痛
3. 手の反射性交感神経性萎縮症
4. 片側顔面けいれん

第 13 回

問題 88 アレルギー性鼻炎について正しい記述はどれか。

1. 遅延型アレルギー反応で起こる。
2. 診断には鼻汁の好酸球検査が重要である。
3. 慢性化することは少ない。
4. 副鼻腔炎の原因にはなりにくい。

第 14 回

問題 77 聴神経鞘腫でみられにくいのはどれか。

1. 顔面神経麻痺
2. 嗅覚異常
3. 耳鳴り
4. 失調性歩行

第 14 回

問題 85 メニエール病について誤っている記述はどれか。

1. 伝音性難聴をきたす
2. 発作は反復消長する
3. めまい発作をきたす
4. 自発眼振が出現する

第 15 回

問題 77 次の文で示す症例について、問題 77、問題 78 の間に答えよ。

「40 歳の女性。3 か月前から歩行時のふらつき、めまいが出現した。また、2 か月前から左の難聴、耳鳴りと左顔面の感覚が鈍いことを自覚している。四肢の筋力低下はない。」

問題 77 この患者でみられないのはどれか。

1. 指鼻試験は拙劣である。
2. つぎ足歩行は不能である。
3. 角膜反射は消失する。
4. 深部腱反射は亢進する。

問題 78 最も考えられる疾患はどれか。

1. メニエール病
2. 突発性難聴
3. 聴神経腫瘍
4. 脊髄空洞症

第 15 回

問題 82 流行性角結膜炎を起こすのはどれか。

1. 黄色ブドウ球菌
2. 緑膿菌
3. アデノウイルス
4. 帯状疱疹ウイルス

第 17 回

問題 82 アレルギー性鼻炎について誤っている記述はどれか。

1. 発作性のくしゃみがある。
2. 水様性鼻汁を特徴とする。
3. IgG 抗体が関与する。
4. 手術療法が行われる。

第 18 回

問題 76 結膜炎について誤っている記述はどれか。

1. アレルギー性結膜炎ではかゆみが強い。
2. クラミジア性結膜炎は難治性である。
3. 細菌性結膜炎は大型濾胞が特徴である。
4. ウイルス性結膜炎は院内感染が起こりやすい。

第 18 回

問題 82 慢性副鼻腔炎に関して正しい記述はどれか。

1. ウイルス感染が多い。
2. 水様性鼻汁が特徴である。
3. エックス線検査が有用である。
4. 内視鏡下手術の適応ではない。

第 19 回

問題 65 アレルギー性鼻炎の診断に有用なものはどれか。

1. IgA 抗体
2. IgE 抗体
3. IgG 抗体
4. IgM 抗体

第 21 回

問題 66 眼疾患と所見との組合せで正しいのはどれか。

1. アレルギー性結膜炎 ——— 眼瞼腫脹
2. 緑内障 ——— 水晶体混濁
3. 白内障 ——— ブドウ膜炎
4. 角膜炎 ——— 眼圧亢進

第 21 回

問題 83 突発性難聴について正しい記述はどれか。

1. 伝音難聴である。
2. 頭痛を伴う。
3. 耳鳴りを伴う。
4. 抗菌薬が有効である。

第 22 回

問題 67 アトピー性皮膚炎について誤っているのはどれか。

1. II 型アレルギーである。
2. 季節により症状が変動しやすい。
3. 気管支喘息と合併しやすい。
4. 家系内発症がみられやすい。

第 22 回

問題 70 緑内障でみられるのはどれか。

1. 結膜の炎症
2. 眼球の陥凹
3. 水晶体の混濁
4. 視野の障害

第 22 回

問題 83 メニエール病の症状としてみられないのはどれか。

1. 耳 漏
2. 耳鳴り
3. 難 聴
4. 眩 暈

第 27 回

問題 54 感音性難聴がみられるのはどれか。

1. 急性中耳炎
2. メニエール病
3. 耳管狭窄症
4. 耳垢塞栓

第 27 回

問題 56 ラムゼイハント症候群の治療薬はどれか。

1. 免疫抑制薬
2. 抗菌薬
3. 抗ウイルス薬
4. 非ステロイド性抗炎症薬

第 27 回

問題 67 アデノウイルス感染症はどれか。

1. 伝染性単核球症
2. 流行性角結膜炎
3. 手足口病
4. 突発性発疹